公式競技大会における新型コロナウイルス感染症予防マニュアル

2022 年5 月

一般社団法人日本ゴールボール協会

大会実行委員会

このマニュアルは、一般社団法人日本ゴールボール協会が主催する公式競技大会において、新型コロナウイルス感染症の予防を目的に、日本スポーツ協会が定める「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」を基に、ゴールボール競技の特性に合わせて定めたものです。

【大会前】

1．入場者を把握する為、「来場者情報用紙」及び「体調管理チェックシート」を作成する。

※ 「来場者情報用紙」は下記の区分毎に作成し、大会終了後1 ヶ月間保管する。

① チーム関係者（選手、コーチ、ベンチに入らない引率者等）。

② 大会関係者（運営スタッフ、審判員、救護スタッフ、ボランティアスタッフ等）。

③ 来賓（共催・後援団体、パートナー企業関係者等）。

④ メディア関係者（プレス、メディアスタッフ等）。

2．上記①~④の者達へは、事前に配布する「体調管理チェックシート」を記入し、大会当日に提出してもらう。チェック項目の回答によっては来場を断る可能性もある。

※ これにより選手・コーチが来場出来ない場合でも、参加費等の返金は行わない。

※ これによりチームとしての出場が不可となった場合は棄権とする。

3．入場者に感染疑いや感染者が出た場合に備え、大会開催地域の保健所への相談ならびに対応方法の助言を求める。

【大会当日入場時】

1．「来場者情報用紙」を元に1 人ずつ確認を行い、「来場者証」を配布する。

※ 大会期間中は毎日上記の確認を実施し、その日毎に「来場者証」を配布する。

※ 「来場者証」は、大会期間中は常時着用することとし、着用が無い場合は入場不可とする。

2．アルコールによる手指消毒の実施。

※ 会場内各所にあるアルコールにて消毒を行うこと。

3.抗原検査の実施

チーム関係者、大会関係者は抗原検査を行い、陽性となった者は入場不可とする。

【大会期間中の注意事項】

1．入場者全員がマスクを持参し、常時着用する（マウスシールドは不可）。

2．常に換気を行い、ソーシャルディスタンスを確保する。

3．手洗い、アルコールによる手指消毒の徹底。

4．試合観戦は指定された場所のみとし、ソーシャルディスタンスを確保した上で、大きな声を出さないこと。

5．食事中は会話を控え、ソーシャルディスタンスを確保する。

6．ゴミは必ず持ち帰ること。

7．体育館が定めるガイドラインを遵守すること。

8．大会期間中に体調不良となった場合は、必ず大会本部に連絡すること。

9．大会終了後に体調不良となった場合は、必ず日本ゴールボール協会に連絡すること。 ※ 日本ゴールボール協会事務局：[info\_japangoalball@jgba.or.jp](mailto:info_japangoalball@jgba.or.jp)

【試合中】

1．試合に関わる全ての関係者は、試合前後にアルコールによる手指消毒を行うこと。

※ オフィシャルテーブルとベンチエリアにアルコール消毒を設置する。

2．チームとして 試合前のウォーミングアップのマスク着用は任意とする。 円陣を組む 場合は、体への接触を避け大きな声を出さないこと。

3．コート内の選手

コート内でのマスクの着用は任意とする。

※ コートの外では必ずマスクを着用すること。

※ アイパッチ装着時はマスクを外してもよいが、出来るだけ声を出さないこと。

4．ベンチエリアのコーチ・控え選手

ベンチエリア内においては全員マスクを着用。ただし、交代直後、ウォーミングアップ直後等、呼吸が整っていない場合等においては、呼吸が整うまで着用を強制しない。

※ アイパッチ装着時はマスクを外してもよいが、出来るだけ声を出さないこと。

5．審判員（レフェリー・オフィシャルスタッフ）

① レフェリー

ゴム手袋を着用。ホイッスルは、手で操作する電子ホイッスルを使用。ただし、アイシェードをチェックするとき等、選手と会話をする必要があるときはマスクを着用する。

② テンセカンドタイマー

マスクを着用。

※選手へのアイパッチの装着は行わない。アイパッチはチーム内で行い、テンセカンドレフェリーはチェック、指導をする。

③ ゴールジャッジ

マスクとゴム手袋を着用。

④ スコアラー

マスクを着用。

⑤ タイマー

マスクを着用。

6．運営スタッフ

全員マスクを着用。

7．競技備品類の消毒・交換

① ボールは、各ハーフ終了後にアルコール消毒を実施。

② コートは、試合終了後に体育館が許可した方法でオリエンテーションエリアの消毒を実施する。

③ ゴールは、試合終了後にポストとクロスバーのアルコール消毒を実施。

④ レフェリーは、アイシェードチェック後にアルコール消毒を実施。

⑤ レフェリー・ゴールジャッジは、1 試合毎にゴム手袋を交換。

【大会終了後（毎日）】

1．コート全体を体育館が許可した方法で消毒等を実施。

2．体育館から借用した備品（机・椅子・競技器具等）のアルコール消毒を実施。

3．持参した備品のアルコール消毒を実施。

【入場者に感染が疑われた場合】

1. 大会期間中の場合は、その個人と濃厚接触者の参加を取り止め、体育館管理者に速やかに報告すると共に、その後2 週間の経過確認と保健所および相談窓口との連絡調整を行う。
2. 大会終了後の場合は、その個人と濃厚接触者を特定し、体育館管理者に速やかに報告すると共に、その後2 週間の経過確認と保健所および相談窓口との連絡調整を行う。

【入場者が新型コロナウイルスを発症した場合】

大会終了後2 週間以内に入場者が新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、その濃厚接触者を特定すると共に、下記への報告を行う。

① 濃厚接触者に該当する方全員。

② 体育館管理者。

③ 保健所。

【備考】

感染予防に関る下記備品については、主催者側で準備する。 検温器具、アルコール、ペーパータオル、使い捨てゴム手袋、予備マスク。